

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校は、全学年2学級で全校児童数309名の学校である。子どもたちは素直で幼さが感じられる。柏里地域活動協議会や PTA に関わる皆さんも協力的で子どもたちを地域で支える基盤ができている。

子どもたちの学力面では、「主体的・対話的で深い学びの推進」に向け、教職員の共通理解や一体となった指導体制のもと、学びの環境を整えている。また、主体的な学びと言語活動の推進に向け、読書環境は整ってきているので、より主体的に読書する子どもの育成を図る。さらに基礎的・基本的な学力の定着が厳しい状況の子どもたちへの支援・指導を主眼として、昼のチャレンジタイム、放課後指導の改善に取り組むとともに、個に応じた課題解決学習の構築と主体的な学び、家庭学習が定着するようにしていく。

学習指導の形態としては、今年度より全学年で専科指導を実施し、児童を複数で見守っていく態勢を強化している。また、第1教育ブロック学力推進事業、西淀川区の学力推進事業・校長経営戦略支援予算による漢字検定(4・6年生)、英検ジュニア(3・5年生)を継続し、子どもたちの主体的な学びも継続していく。

ICTの活用については、“便利な文房具”としてタブレットの活用を進めていく中で、生成AIの効果的な活用場面についての研究も行う。

体力面では、運動場の整地、倉庫の用具整理など、環境整備を徹底しており、安全で使用しやすい運動場や体育館で、体育科の学習を進めることができている。また、足が速くなるダンスに取り組み、運動会での準備運動に取り入れている。

昨年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、男子は9項目中8項目が全国平均を上回っており、女子は2項目が全国平均を上回る結果であった。この結果から全体的に体力は向上している。

しかし、平日の総運動時間が60分未満の児童は、体力合計点が低い傾向がみられたことから、まず運動時間を確保することが重要であると考ええる。体育の学習時間や休憩時間、放課後遊びの時間など、いろいろな時間を運動時間に変えることで、体力合計点はさらに向上すると考えられる。さらに運動することは大切であるという意識が高い児童は体力合計点が高い傾向にあるため、運動することの意味、価値などを体育学習や学級活動、総合的な学習の時間など、あらゆる活動を通して、運動の大切さが伝わるよう児童に働きかけていきたい。

生活面の課題としては、帰宅後の通信機器使用時間(SNSやゲーム)が大阪市の平均以上に相当するという結果が明らかになり、家庭にも啓発し、具体的な目標視聴時間を設定していく。具体的には、帰宅後、3時間以上機器を操作している児童が大阪市平均は26.7%だったが、本校児童は27.8%という結果であった。

この数値は昨年度より大幅に改善されているが、まだ市平均を上回っている状態のため、動画サイトに依存しすぎないように注意喚起するとともに保護者への啓発活動も必要である。また、情報モラル教育も推進していきたい。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- パソコンや携帯電話・スマートフォン等に関する調査における「保護者との間にスマートフォン等（インターネットを通じたゲーム・動画・SNS 等の利用（パソコンや携帯電話・タブレット端末を含む））を利用する時のルールはありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における、算数のボリュームゾーンにあたる層の変化率を前年度より 1 ポイント向上させる。 ※小3時点でのボリュームゾーンにあたる層の小6時点での変化率
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女ともに前年度より 1 ポイント向上させる。

【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。
- 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月 20 時間以下とする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- パソコンや携帯電話・スマートフォン等に関する調査における「保護者との間にスマートフォン等（インターネットを通じたゲーム・動画・SNS 等の利用（パソコンや携帯電話・タブレット端末を含む））を利用する時のルールはありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 70%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における、算数のボリュームゾーンにあたる層の変化率を前年度より 0.3 ポイント向上させる。※小3時点でのボリュームゾーンにあたる層の小6時点での変化率
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女ともに前年度より 0.3 ポイント向上させる。

【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 70%以上にする。
- 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月 23時間以下とする。

3 本年度の自己評価結果の総括

--

大阪市立柏里小学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【安全・安心な教育の推進】 ○パソコンや携帯電話・スマートフォン等に関する調査における「保護者との間にスマートフォン等(インターネットを通じたゲーム・動画・SNS等の利用(パソコンや携帯電話・タブレット端末を含む))を利用する時のルールはありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 70% 以上にする。 ○小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80% 以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現 施策1-6】 ・昨年度の結果や毎学期行われる児童アンケートの結果を保護者と共有し、本校児童の現状と課題を知ってもらい、適切な視聴時間とルールを決める。 ・生活チェック週間に入る事前準備を計画立てて行い、課題を明確にしてから取り組みを行う。また、家庭でのルールを話し合ってください。	
指標: 児童アンケートにおいて「家庭で話し合ったルールを守れていますか」の項目で肯定的な回答を 70% 以上にする。	
取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成 施策2-3】 ・各学級毎日の朝夕会で感謝や自分が頑張ったこと、友だちが頑張っていたことを発表し、自己肯定感・他者肯定感を高める。	
指標 児童アンケートにおいて「学校の取り組みから自分の良さや友だちの良さを見つけることができますか」で肯定的な回答を 80% 以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○小学校学力経年調査における、算数のボリュームゾーンにあたる層の変化率を前年度より 0.3 ポイント向上させる。 ※小3時点でのボリュームゾーンにあたる層の小6時点での変化率</p> <p>○全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女ともに前年度より 0.3 ポイント向上させる。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内研修を通して指導力の向上を図り、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す。 ・1時間の授業の中でどの児童も自力解決できるような支援の仕方を工夫する。 ・算数科の学力に課題の見られる児童を中心に放課後学習の充実を図る。 ・算数科のボリュームゾーンに属する児童を明確にし、発問などを工夫する。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員の公開授業を年間 20 回以上、スクールアドバイザー等を指導要請した研究授業・研究討議会を年 3 回実施する。 ・週 1 回の学年打ち合わせの際に児童の実態について学年団で共有し、より良い指導方法を考える。 ・研修・会議のない日はどの学年も毎日放課後学習ができる体制を整える。 	
<p>取組内容②【基本的な方向 5 健やかな体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年の発達段階に応じた体の動きを習得できるよう、系統立てた指導を行う。 ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査前に、動きのポイントを映像や動画で確認し、児童がもっている力を存分に発揮できるようにする。 ・安全・安心な校内環境、教育環境づくりに努め、自主的な健康管理及び規則正しい生活習慣の態度を育てる。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1単元に1度以上副読本やデジタル教材を活用する。 ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、評価が D, E の割合を 3% 下げる。(前年度は 24.7%) 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立柏里小学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【学びを支える教育環境の充実】 ○小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 70%以上にする。 ○教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月 23 時間以下とする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向 6 教育 DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進】 ・調べた情報から課題を解決するための情報を収集・整理し、スライドや発表ノートにまとめて伝える。【ペア・グループ可】 ----- 指標 学期に 1 回、情報を整理しプレゼンテーションをする。	
取組内容②【基本的な方向 6 教育 DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進】 ・学びの天気を活用し、日々の学習指導に生かす。 ----- 指標 算数の学習の振り返りに学びの天気を入力する。	
取組内容③【基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 ・時間外勤務削減のために会議を開始時刻通り始める。 ・学年団、校務分掌、教科領域部会等で計画的に連携を図り、一部に偏りなく職務が遂行できるよう意識する。 ・各自で定時退勤または早めに退勤する日を設定する。 ----- 指標 月の平均時間外勤務 30 時間以下を満たす教員の割合を 87%以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	